

Program 第1部

16:30～ パイプオルガンコンサート 演奏 新田 朝香

トッカータとフーガ ニ短調 BWV565 / J.S. バッハ

オルガン交響曲 第5番 ヘ短調 作品42-1より

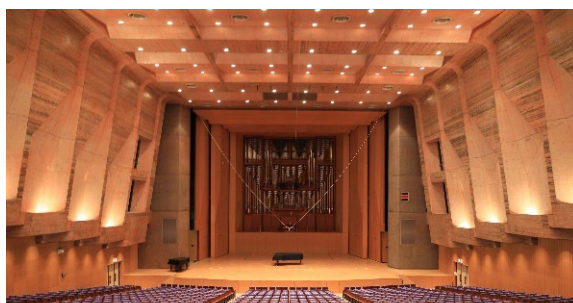
終楽章「トッカータ」 / C-M. ヴィドール

新田 朝香 (にった あさか)

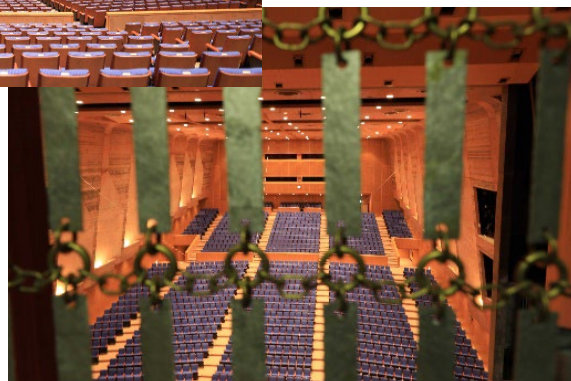
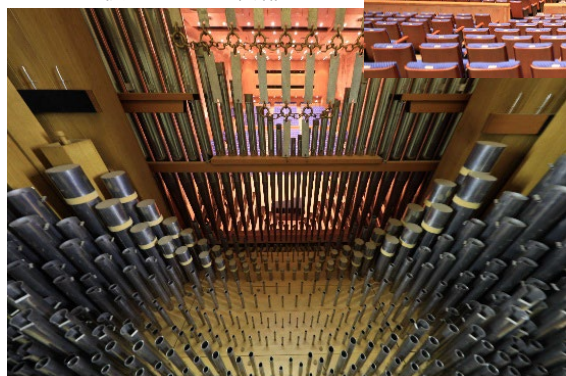
東京都出身。国立音楽大学附属高等学校オルガン科を経て、同大学演奏・創作学科鍵盤楽器専修(オルガン)および大学院修士課程音楽研究科器楽専攻鍵盤楽器(オルガン)を修了。大学卒業時に武岡賞、大学院修了時に最優秀賞(鍵盤楽器)を受賞。明治安田クオリティオブライフ文化財団音楽学生奨学生、国立音楽大学大学院奨学生(2023・2024年度)。これまでにオルガンを青田絹江、近藤岳の各氏に師事。日本オルガニスト協会会員。2025年度横浜みなとみらいホール ホールオルガニスト・インターンシップ第21期生。

【講堂大ホールのパイプオルガン】

国立音楽大学講堂大ホールの特徴は、パイプオルガンのために設けられた、舞台から14.3mという高い天井高です。設置されているパイプオルガンは、ドイツ・ベッケラート社(Rudolf von Beckerath)が設計・製造したもので、ホール正面に設置されたオルガンとしては最大規模。深い響きも日本有数です。講堂の竣工(大学創立50周年記念事業)を記念して、同調会(国立音楽大学同窓会組織)から寄贈されました。



※下2枚はオルガン内部



Program 第2部

16:50～ レクチャー「前川建築と国立音楽大学」

講演：橋本 功(前川建築設計事務所 所長)

司会：柴田 翔平(2017 年度本学卒業)

橋本 功 (はしもと いさお)

(株)前川建築設計事務所 所長、一級建築士。

1945年神奈川県生まれ。1970年日本大学理工学部建築学科卒業。同年、(株)前川國男建築設計事務所入所。1994年(株)前川建築設計事務所取締役、2000年代表取締役に就任、現在に至る。

主な担当作品：福岡市美術館、埼玉県立自然の博物館、国立音楽大学講堂・附属小学校・附属幼稚園、千葉県東総文化会館、埼玉県児玉町総合文化会館など。また、弘前市、埼玉県、東京都、神奈川県、熊本県などの多くの前川建築のリニューアルを手掛け、同時に前川建築の価値・保存・継承に関するセミナー・講演などを行っている。

柴田 翔平 (しばた しょうへい)

静岡市出身。国立音楽大学音楽学部フルート専攻卒業。自身のリサイタルに加え、建築好きが高じた公演「名建築の響き」シリーズを主なライフワークとして演奏活動を行っている。2025年5月「名建築で名曲を Vol.2: 埼玉会館」を(株)前川建築設計事務所の橋本功氏と開催。2026年4月19日「柴田翔平 フルトリサイタル Ver.3.0.0」を横浜市大倉山記念館にて開催予定。国立音楽大学卒業後、システムエンジニアとして銀行のシステム開発に携わった後、現在コクヨ(株)にてイノベーションセンター所属のエンジニアとして、同社の複数の新規事業に関わっている。

【くにおんのシンボル カリヨン】

正面に設置された、大小 47 の鐘が連なる「カリヨン」(グロッケンシュピール)は本学のシンボリック存在で、講堂でコンサートなどの催しが行われるたびに、開場の音として奏でられます。講堂の竣工に併せて本体部分はドイツから取り寄せ、デザインは新宮晋(しんぐう すすむ/彫刻家)さんが担当した。

